

No.249  
Mar. 2025

ハイライト

- ①新入会者紹介
- ②パリ邦人宣教報告



宣教レポート

近況&祈禱課題

インフォメーション



在原宣教師ご一家が訪ねていただきました  
左から3人目、お孫さんの喜愛(キエ)さん17歳、4人目、宣教訓練生だったパトリシア姉





## プラン、プラン インドネシア 高橋央也・恵



ジャカルタの交通渋滞は有名。朝晩は幹線道路のみならず、生活道路も渋滞。バイクには商売道具を山盛り乗せた者や、6人相乗りで食事中という猛者までいる。しかしそんな渋滞を歓迎している人々もいる。交差点で営業をする物売りの人々。信号が変わると素早く車に近づき、怪しい着ぐるみのマスコットや演奏者も出てきては、窓からこちら側をのぞき込み喜捨を募る。赤ちゃんを抱えた人もいる。事故が起きないかははらするが、信号が変わるとすっとどこかへ消える。押しも強ければ、引き際も絶妙の塩梅に、いつも感心せずにはおられない。

とはいえ、交通渋滞のストレスは免れない。政府も車のナンバーによる交通規制をしているが、あまり効果は感じられない。というのも、車やバイクが多い割に道の数が少ない。バイクの保有率は世帯割合で84%。2人に1人がバイクを保有してい

るそう。JJCFでも「渋滞なしだと30分で着くけど、今日は余裕を見て家を2時間前に出たわ。それでも遅刻ね」、そんな会話があたりまえ。礼拝や集会に様々な犠牲を払いながらも、喜んで集う姉に励まされ支えられている。

ところで昨年クリスマス祝会には総勢百名の参加があった。また新牧師館でのバプテスマ第1号として親子2名が受洗。数年に渡るとりなしと種まきに様々な人が用いられ、刈り取りの時を皆が喜んだ。

しかし良いこともあれば、実はそうは思えないことも起こってくる。辛く悲しいことにも正直出くわす。その時の心中はジャカルタの交通渋滞のようだ。そんな時は、先に急ぐことをやめよう。ゆっくりゆっくり（インドネシア語でプラン、プラン）、主が前に行かれば進む。 (高橋恵)



## 主の永遠を見つめて インドネシア R・K



先日、Yちゃんとお勉強していた時に、蟻の特性について書かれた読解の文章があったので、私が『はたらきありさん』を歌ったところ、彼女は目を輝かして、私が自作した曲なのかと感動してくれました。期待を裏切って申し訳ないと思いつつ、日本で有名な童謡だと伝えました。私達はどこで覚えたか思い出せない様な童謡や昔話、遊びなども、彼らは知らずに過ごす事もしばしばなんだと改めて思わされます。一方で、日本ではなかなか出来ない体験をし、たくさんの恵みも受け取っています。

国語や漢字の勉強は、彼らの目に見える生活には必要ではありません。将来の自分にどのように役に立つのか、今は想像もできない中で歯を食い縛って勉強しています。しかし、いつか彼らも親元から巣立つ時がやってきて、日本人として自分の道

を歩むことになります。ですから私達は、彼らが主の使命に立つその時まで、祈りと出来る限りのサポートを捧げなければなりません。宣教師の子どものために祈り捧げて行くことは、現在の宣教の働きと共に、主の再臨のその時まで世界宣教が継続し、次世代に信仰の継承がされて行くための大切な働きであると思います。私は、彼らが世界宣教の祝福を受け取り、主のそれぞれの使命に立つ器となっている何十年後かの姿を、信仰によって思い描き祈っています。全ては神の永遠の中にあり、私達は神の時を知る事はできませんが、だからこそ日々の歩みの中で神の永遠を見つめたいと改めて覚えています。背後からのお祈りを感謝します、これから宣教師の子どもを覚えてのお祈りをどうぞよろしくお願いします。(注：Yちゃん・・・N宣教師のご息女)



## 昨年末の宣教地訪問 要配慮国 ちえ



この国のためにお祈りいただいている皆様と真実な主に感謝申し上げます。現在、父の介護をしながらオンラインで働きを続けさせていただいています。「見よ、イスラエルを守る方は、まどろむことなく、眠ることもない。」2024年末には二週間の現地訪問を果たすことが出来ました。人口の80%以上を異教徒が占めるこの国の中で、人の心が主に向く時、その目のおおいは取り除けられる。このみことばを何度も思い起させる再会の時が用意されていました。

子どもたちから始まったスラム宣教の働きでしたが、昨年は、その子どもたちの家族が、たましいの飢え渴きを感じ、まことの神を求めているという声を聞きました。「わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことがありません。私が与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき

出ます。」と約束されています。環境、状況、文化を越えてスラムの人々が御霊に導かれて主の御名を呼び求め始めました。主の御目は彼らに注がれており、忍耐強く彼らを待っておられました。

17年前この国の孤児院に遣わして下さった主は、そこで出会った子どもたちをどのように守り続けて下さっているかを今回の旅で見せて下さいました。両親が揃っていても生きる困難を感じる子どもたちが少なくないこの国で、彼女たちに変わらない神のみことばと信仰を与え希望を失わず歩めと語り続けて下さっています。そして彼女たちは、妻として母として力強く主を中心とした家庭を築いていました。孤児院を去る前に、「私がする。」と言われた主の御声を思い出しました。遣わされた者は、その真実な神の御業を見て主に感謝するばかりです。



## 忍耐を学ぶ 要配慮国 みか



「そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」(ローマ 5:3-5)

宣教地に来て早や十数年、「何を学びましたか」と問われると、わたしは「忍耐を学んでいます」と答えます。持って生まれたわたしの性質は、忍耐とは真逆の性質が強く、毎日、忍耐に対する何かしらのミニテストがあり、「忍耐できた、できなかった」と反省を繰り返しています。しかしそんな中でも主は働いてくださり、失敗を重ねながらも前へと導いてくださっています。

先日、十数名のクリスチャンの学生たちと共に、近くの児童

養護施設を訪問しました。実はこれは宗教の授業の一環で、学生が企画し、資金も彼らが半年間献金を貯めたものでした。

「単位のため、強制され、始めたこと」(学生談)の中で、協力を学び、必要経費のために祈り始めました。創意工夫、それでも足りない…。何とか訪問する算段をつけ迎えた当日、出発前の礼拝の後、不思議な方法で献金が満たされ、彼らはプレゼントをさらに買い足すことができました。目を輝かせて、「主が祈りに答えてくださった！」と語る彼らの喜びにあふれた笑顔、又ぎこちないながらも一生懸命子どもたちと関わる姿を見、半年前まで高校生だった彼らの成長ぶりに静かな感動を覚えました。彼らの中に灯った信仰の光が、隣人のA族、まだイエス様を知らない学生たちに良い影響を与え、広がるように続けてお祈りください。

## 近況 & 祈禱課題

### アルゼンチン 在原繁・津紀子

- ・貧困と戦う諸教会の民とその家族が守られますように。
  - ・2月17日からの一時帰国で、パトリシア姉に日本宣教の道が開かれるように。
- ### 国内 国際教会牧会 宇井英樹・由美
- ・TNLICのメンバーが御霊により一致し、主の証人として、周りの人々に届いていくことができるように。
  - ・この開拓の働きを主ご自身が導いて下さるように。

- ・TNLICを共に建て上げていく人々を主が加えてくださるように。

### インドネシア 浅井俊貴・ひかり

- ・この半年の間に、私たちの学校に、迫害下にある国からの子供達が数名入学した。インドネシア国内に留まらず、国を超えてこのようにキリスト教教育の機会を必要としている子どもに届いて行くことができるように。学校の成長に伴って、働き人が整えられるように。また新しく加えられるように。

### モンゴル 高橋真一・千恵美

- ・シネー先生の出産が無事に守られるように。
- ・TX教会の政府公認が今年も取得できて、礼拝を捧げることが出来るように。
- ・真一の父の介護と、それを支える家族の健康のために。

### タイ 新納真司・玉皇

- ・3月に一時帰国します。二人ともヘルスチェックしますが健康が守られますように。

- ・一時帰国中は吉永輝次先生ご夫妻が代理牧会をさせていただきます。
- ・この春、教会に新来者が与えられますように。

### 韓国 長澤久美子

- ・クリスマスに教会に来た、ろう者たちが、続けて信仰に導かれるように。
- ・女性執事の体調不良の癒しのために。肝機能と肺が良くなり元気になるように。
- ・次男ダビデさん夫婦の第二子の妊娠期間が守られるように。

- ・久美子師の健康が強められ、癒され、牧会宣教が祝されるように。
- ・ご主人の李先生の霊肉魂の健康とご奉仕の祝福のために。

### 宣教支援広告

福音を伝え、希望と平安を届ける看護師募集

礼拝ができる 老人ホーム **晴れる家** **看護師募集中**

■訪問看護 ■デイサービス ■施設看護師

やさしき介護 シャローム **0120-998-414** 詳しくは WEBで 看護師 シャローム株式会社 堺市堺区大仙中町6-24 (受付時間：月～金 9:00～17:30) 採用サイト



# 新入会者紹介



イギリス 相馬裕美

2023年5月からイギリスのオクスフォードで留学生伝道に従事しています。私は27歳の時にイギリスで1年間の福祉ボランティアをしていました。その時に初めて教会に行ったのですが、そこで心から嬉しそうに賛美している人々の姿を見て「ここに何か真理がある」と直感したのです。小さい時から探し求めていた「人間は何のために生きているのか？死んだらどこに行くのか？」という答えがここにあるとわかりました。それから私は英語のバイブルスタディに参加するようになり、イエスキリストが私の罪を赦すために十字架にかけて、蘇ってくださったこと、そのことを信じることによって、自分と神様との関係が回復したのだということを知りました。

それまで日本では日本人クリスチャンに会ったことがない、日本語の聖書を見た事がない、教会があるのかも分からなかった私にとって帰国してからの逆カルチャーショックはとて大変でした。日本語が母国語なのに日本語の聖書が難しく読めない、日本の教会文化に馴染めない状態がしばらく続きました。日本での帰国者集会などに参加するようになり、また自分でも帰国者のフォローアップをしていく中で、海外で救われる人々がそれぞれの国に帰国してもそのほとんどが信仰を持続けることがとても難しいということを知りました。そして私の逆カルチャーショックの経験を通して海外で救われる人々のために、特に帰国支援のために働きなさいという神様の召しを受け取りました。

今はフレンズインターナショナルというイギリスの留学生伝道団体に所属してオクスフォードに来る留学生に伝道しています。イギリスには世界中から多くの留学生が来ます。いろいろな文化的な背景を持った留学生達と信頼関係を築きながらイエス様の救いについて、神様との関係の回復について伝えることができる喜びに満たされています。そして私達スタッフも留学生達から彼らの国の文化について、考え方の違いについてたくさんのお話を学んでいるのです。この素晴らしいミニストリーを特に日本人の次世代に継承していくことを視野に入れつつ、「神様の文化の中に生きる幸せ、本当の自由」について留学生達に伝えていけたらいいなと思っています。



インドネシア 渡部惇

シャローム！！私はインドネシアのチカランで日本人教会の教師をしております渡部惇(わたべ じゅん)と申します。2024年1月から宣教地に入っております。普段は現地でインドネシア人に日本語を教えながら、チカラン市に住む日本人への宣教、日本語礼拝を導いています。

チカラン市はインドネシアの首都ジャカルタと同じジャワ島にある地域で、車でおよそ1時間半程車でいった場所にあります。外国の企業が多く進出している地域で、日本人の駐在員の方々やその家族がたくさん住んでいます。日本人学校もあったり、イオンモールもあつたりするなど、外国でありながら日本を感じられる場所です。そこで日本人の魂の救いのために、また日本語礼拝を導くために仕えています。

インドネシアに遣わされるきっかけとなったのは、神学校で宣教学の科目を学ぶ中で海外で日本人に福音を伝える動きについて考えるようになったことです。私は今までは日本宣教は日本国内でしかできないのではないかと思っていました。しかし、学びの中でいくつかの宣教の方法の中に、海外に住む同じ民族の人に福音を伝える方法があることを学びました。そのような学びの中で、次第に海外にいる日本人に対する救霊の心が与えられ、また同時に海外での日本語礼拝についての関心が増していき、神様のご計画であるならば、いつかその機会が与えられないかと祈っておりました。

神学校を卒業した後、2年ほどが経った時に私の所属する教会にてインドネシアで日本語礼拝を導く使役者を募集することになりました。教会の担任牧師とチカラン市にある韓国の教育宣教団体(K-Eduplex)の設立者との間で交流があり、その教育宣教の場所を拠点にしながら日本人宣教をする宣教師を探しているとのことでした。私はその話を聞いたとき、最初は、未熟な自分がその動きにふさわしいのだろうかかとためらっていましたが、主が与えてくださった海外にいる日本人宣教、日本語礼拝のビジョンを思い起こしていただき、励ましを受けてその動きに志願し、実際に派遣される導きとなりました。

まだ宣教地に来て1年程ですが、これまで主なる神様が色々な働きを成し遂げてくださったと信じています。これからも主に期待しながら、たくさんのお実りが与えられることを信じて、主の業に励んでいきたいと思っております。(7ページの写真もご覧ください。)

# パリ邦人宣教報告



国内外宣教 岡本告・涼子

主の御名を賛美申し上げます。

主イエス様の導きによって、昨年の10月11日から今年の1月8日まで、EU滞在期限の90日間、パリ・プロテスタント日本語キリスト教会(以下、パリ教会)の中期牧師としてご奉仕させていただきました。主から与えられた恵みの一部をご報告させていただきます。

パリ教会は、パリで日本語による礼拝が持たれている唯一のプロテスタント教会(超教派)です。1981年に家庭集會が始まり、2006年12月24日のクリスマス礼拝からバプティスト広場近くのマレ教会で礼拝を行なっています。昨年4月から無牧となっていますが、フランスや近隣諸国の日本人教職者の助けを得て毎週の礼拝を守っており、私が渡仏した時には、教会員、客員、求道者を含む約30人の方々が礼拝に集っていました。

パリ教会の特徴の一つは、音楽・芸術関係の方が多いということです。アニメ化&ドラマ化された漫画『のだめカンタービレ』の主人公のだめが留学したパリ国立高等音楽院をはじめ、有名な音楽学校があるため、教会員や求道者の中には音楽留学生や、かつてパリに音楽留学し、現在は国際結婚している方々がいます。そのため、礼拝賛美がとて力強いです。そして、かのモナリザを有するルーブル美術館をはじめ、美術で有名な場所でもありますから、画家や彫刻家の方もいます。

主イエス様の恵みと皆様のお祈りに支えられて、13回の日曜日の礼拝、受洗準備会、週日の水曜と木曜の祈禱会、毎月の家庭集會と西の祈禱会とカレーの会、子どもクリスマス会での



パリ日本人教会

メッセージのご奉仕などを行ない、教会の兄弟姉妹にはとても喜んでいただけました。無牧の状態にあつて御言葉に飢え渴いていたパリ教会の方々を主にあつて励ますことができたことは、邦人宣教のために祈り、備えてきた私にとつても大きな喜びでした。

さて、パリ在住の日本人は、「パリ症候群」と呼ばれるメンタルの問題に悩まされることがあるそうです。フランス語の難しさ、人種差別、冬には朝9時くらいまで暗く、曇りや雨の日も多いこと、そして、自己主張の強いフランス人の文化に上手く適応できず、心病む方が少なからずおられるとのこと。[パリは日本人には厳しい環境ですが、だからこそ、教会が必要なのです]と、パリ教会の代表の兄弟がおっしゃっていた言葉が心に残っています。外務省の在留邦人統計によると、フランスには35000人以上、パリにも約1万人の日本人が住んでいます。ぜひ、パリ教会の兄弟姉妹のため、フランスでの邦人宣教のためにお祈りください。

今後、私自身は、主にある交わりを持っている海外の邦人教会と共に主の長期的な導きを示されるように祈りつつ、御言葉に飢え渴いている国内外の無牧の教会を短期・中期の奉仕で支援して行けたらと願っています。もし私にお力になれることがあれば、単発での説教奉仕から1~3ヶ月の奉仕まで、どうぞお気軽にお声かけください。

今年も主イエス様から賜った宣教の召しに忠実に歩んでゆきたいと願っておりますので、引き続きお祈りをよろしく願い申し上げます。(告)

## 近況 & 祈禱課題

### インドネシア 今西勇太・茉莉

- ・ラマダン(断食月)とイースターの時期に、一人でも多くの方がキリストに出会えるように。
- ・大学生のエファン兄、フェガ兄、ギラン兄、アンディ兄への弟子訓練のために。
- ・5月中旬から7月上旬の一時帰国が祝福されるように。

### ベルギー 川上寧・真咲

- ・経済的な必要のためにお祈りくださりありがとうございます。困難はまだあり

ますが、所属宣教団体からパートタイム労働契約を結んでいただき、経済状況が改善されました。新しい働き(ルーヴェン)を通して、一人の日本人と繋がることもできました。感謝。





信仰、わたしの示す地へ

要配慮国 N・K



リーダーB族Sが男の子を出産しました。お祈り感謝します。夫Aは、日本から伊藤満先生のA国来訪の際、子ども施設の皆と共に信仰告白を祈りました。Sの義父SDさんは日本訪問時、宣教師の家に滞在し、礼拝に参加しました。神様は確実に働かれています。子ども達や家族が全員救われますように！伊藤先生は滞在中、施設や友人Sの教会で英語と日本語で御言葉を取り次いで下さり、私も初めて日本語をA国語に通訳しました。先生はA国の為に心合わせて祈り、愛の心を持って彼らを祝福して下さいました。私も大変励まされました。施設の14歳SBが病の時に一緒に祈り救われた後のフォローを彼らの地元の教会の牧師と話し、引き継ぐ事ができました。施設は自立と支援のビジネスと村の女性が来て研修を始めます。私も物づくりのアドバイスやリーダーSRに日本語を教える機会

が与えられています。また家主Gに祈り、孫娘Pに福音を伝えました。家主家族が救われるように祈っています。また、初めてのA国語で御言葉の奉仕があり準備中です。3月末に一時帰国します。どうぞデピュテーションにお招きください。日本の皆様とお会いし、共にA国の為にお祈り頂きたいと願っています。祈りで共にA国に仕える方々が起こされるようにお祈り下さい。今期までは語学研修の滞在でしたが、来期から働きが始まる事を願っています。主の示す地へ、共に働く御心の人々と出会い、扉が開かれるようお祈り下さい。創世記12章「私の示す地へ」を通して主から信仰を頂き、A国宣教の御言葉イザヤ61章に留まり、A国人、女性達の救いと癒し、解放と希望の為に具体的な道が開かれるようにお祈り下さい。



ピライ教会の礼拝 (在原宣教師)



神の家族 17年後の孤児院の子どもたちと家族 (ちえ師)



児童養護施設訪問 (みか師)



チカランの集会 (渡部師)

## 近況 & 祈禱課題

### ドイツ 井野葉由美

- ・ミュンヘン日本語キリスト教会は、4月から3か月間のトライアル期間を経て、新会堂に移ります。トライアル期間に新会堂の教会と良い関係を築けて、本契約できるように。
- ・ヨーロッパ在住日本人への宣教のために、今後どのような可能性があるか、知恵が与えられるように。

### タンザニア (日本ベース)

#### 安川圭吾・美穂

- ・ハニット牧師を中心とした兄弟の霊の一致。牧師に山を動かす信仰と忍耐が与えられるように。
- ・今年秋にハニット師を日本に招いて教会訪問できるように。
- ・圭吾師のデピュテーションの祝福と新たなミニストリーに導かれるように。

### 北フランス 宮坂鉄也・ジャンネメ

- ・クロエさん (20代)、アンリアンさん (60

代、ともに女性)、の学びと救いのために。

- ・未婚のイラン人カップル、フェロゼさんとアラッシュさんのため。ギリシャ難民キャンプで福音を聞き、クリスチャンになりました。仕事が見つかるように。

### 台湾 高井ハラー由紀

- ・癌で闘病中の義母が天に召されました。付き添っていた夫ダニエルが、TICCの日曜礼拝の配信を見ながら聖歌「いかにおそるべき God Will Take Care of You」を歌っていたところだったので

す。私のピアノの奏楽、TICCの皆の賛美を聞きながら旅立ったのは大きな慰めでした。残されたお父さん、お姉さん、ダニエルのためにお祈りください。

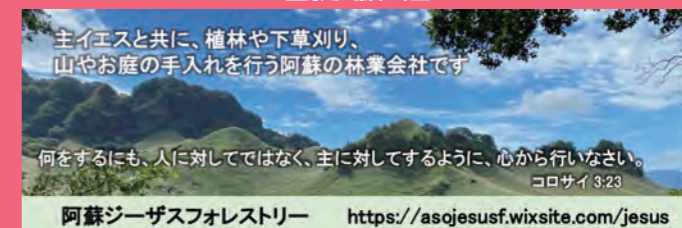
- ・アパートの退去を要求されてしまったAさんが過去の悪循環に戻ることなく、信仰に導かれるように。

### 韓国 朴ダニエル・リムヨンジェン

- ・支援会代表の才門兄の癒しのために。・3/14～17までのJBA大阪トリップの祝福のため。

- ・リム・ヨンジェン師 (奥様) の繊維筋痛症の癒しのために。
- ・3/9の日本ビジョン教会18周年記念礼拝のため。(八尾福音：道本師訪韓)

### 宣教支援広告



主イエスと共に、植林や下草刈り、山やお庭の手入れを行う阿蘇の林業会社です

何をすることも、人に対してではなく、主に對してするように、心から行いなさい。  
コロサイ 3:23

阿蘇ジーザスフォレストリー <https://asqjesusf.wixsite.com/jesus>

# インフォメーション

## 献金芳名リスト・教会および団体

旭川めぐみ 阿蘇ジーザスフォレストリー アルゼンチン宣教を支える会 (4) 石井クリニック 一麦東京 井野師を支える会 (3) インドネシア福音 (3) 宇井師を支える会 (3) 浦和福音 (3) 江藤みかを支える会 (12) 大磯キリスト (3) 大野キリスト 岡本師を支える会 (3) 香登教会 片柳福音自由 (4) カナンブレイズチャーチ 可児福音 (2) 亀有教会 鹿本キリスト 北見めぐみ 京都シオンの丘 (3) 久遠キリスト 久米麗を支える会 (3) クリスチャンフェローシップチャーチ クリスチャンユニオンミニストリーズ 高知ペンテコステ 神戸キリスト栄光 神戸中央 神戸希望を支える会 (3) 郡山キリスト (5) 堺福音 札幌福音館 (3) さんだチャペル JEC ピースチャーチ岡山 十字屋平蔵薬局 新小岩バプテスト 鈴鹿キリスト福音 (3) 西武柳沢 瀬谷キリスト 泉南福音 相馬裕美を支える会 (3) 高島チャペル (12) 高井ヘラー由紀を支える会 高橋央也・恵と共に歩む会 (3) 高松シオン (3) タンザニアミッション (3) 千代田福音 都賀キリスト 土崎グローリア 東栄福音 (5) 東京若枝 (3) 名古屋一麦 (3) 奈良プレッシングチャーチ 新居浜キリスト 21世紀キリスト 日本イエス教団事務所 (3) 秦野クリスチャンセンター 朴師を支える会 (3) 平塚福音 プラトナの会 (3) 本郷台 (3) 前橋キリスト 丸亀聖書 未伝地ミッションを支える

会 (3) 南仙台 森福音・グリーンヒルチャペル (3) モンゴルミッションジャパン (2) 八尾福音北九州チャペル 大和カルバリー (3) 善き隣人バンク 横浜金沢文庫 ライフリバーチャーチ浜北 渡部惇師を支える会 (2) 匿名 (2)

## 献金芳名リスト・個人

新江雅宏・裕子 一箭真理子 井野葉由美 井原敬二 今西太治 岩井輝子 (2) 内村郷美 内山義彦・和子 大橋祐星 甲斐博 (3) 加藤武史・裕子 川上寧・真咲 (2) KIM MINSEOK 栗山伸子 小林満里子 小林宮子 鮫島紘一 島谷みどり 城山直子 関口恵也 世利夕起子 高井ヘラー由紀 (3) タカムラマ サアキ (2) 高山嘉津子 (3) 千金町子 忠内一由・有紀 坪内貴代子 (2) トカシキフミコ 中奥龍子 猶原順子 林正敏 (2) 原國聖 恵星出卓也・薫 (3) ポルソングリス 本田義廣 (2) 前田秀文・庸子 正田早苗 松崎ひかり 三浦岸雄 (3) 宮内和子 宮坂玲子 森和亮 森川柱造 安居義隆 山下祐弘 (3) 山田初子 匿名 (8) (教会・団体・個人 計 233 件)

## 事務局からのお願い

ご献金のお振込みには、所定の赤色の払込取扱票か、「ゆうちょダイレクト」をご利用ください。

## アンテオケ宣教会の口座情報

### ●ゆうちょ銀行

00170 - 4 - 10379

### ●三菱UFJ銀行

池袋東口支店 (普通) 1068695

## オンライン献金

利便性のために、これまでの献金あて先の他に、オンライン献金を始めました。ご利用いただける方は、こちらのQRコードからご利用ください。



## 25年度の予定

### ① MTC コース (宣教師準備コース)

前期: 5/27-6/7 後期: 9/30-10/18

費用: 5 週間 13 万円

### ② カイロスコース (宣教師準備コース)

前半: 5/29,30 後半: 6/4-6

午前 8 時半 ~ 12 時半、午後 2 時 ~ 4 時

※前半のみオンライン可

費用: 27,500 円 (受講料、テキスト代、食費宿泊費含む)

会場: ①、②とも関西聖書学院 (KBI)

※詳細、お問合せ、お申込みは、関西聖書学院 HP へ ↓

### ③ 第 3 回異文化体験ユースキャンプ・じゃむきゅん

日時: 8/5-7 (2泊3日)

場所: 関西聖書学院 (KBI)

対象: 高校生 ~ 30 歳で世界宣教に関心、重荷のある人

講師: アンテオケ宣教会宣教師、理事、主事  
※詳細は追って公式 YouTube チャンネル、HP で告知します。

お問合せ: アンテオケ宣教会宣教センター事務局へ

昨年のキャンプの様子は ↓

### ④ インドネシア西カリマンタンミッショントリップ

日時: 8/19-28 申し込み締め切り: 3/30

費用: 15 万円 (往復航空券、宿泊費、食費含む)

お問合せ先: 堺福音教会・三国クリスチャンチャペル 東師

mikuni2004@blue.plala.or.jp

## 事務局からのお知らせ

◎一時帰国中の神戸希望師を貴教会にお招きください。お問い合わせは、事務局まで。



## アンテオケ宣教会

〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 203 号

TEL : 03-5577-7035 E-mail : jimukyoku@jantiochm1977.net

ウェブサイト jantiochm1977.net 郵便振替 00170-4-10379



公式サイト  
& SNS

